

平成18年度

北秋田市読書感想文・読書感想画
コンクール作品集

読書のおとて



読書のあとで

「表紙」 題字 滑川道夫先生 昭和初期の教育家。一九〇六年生。秋田師範学校卒。

児童文学と学校図書館の普及に尽くした。

絵 合川南小学校 一年 なりた あさか

平成十八年度 北秋田市読書感想画コンクール

特選 「あつたかくて たのしい てぶくろのおうち」

書名 てぶくろ

著者名 ウクライナの民話より

もくじ

発刊によせて 北秋田市教育長 三澤 仁 4

読書感想画

幼稚園・保育園の部 特選

ちいさなあおむし 鷹巣教会幼稚園 佐藤 由知華 6

わーい ちようになつたよ 米内沢保育園 近藤 亮汰 6

小学校の部 特選

あつたかくて たのしい てぶくろのおうち 合川南小学校 一年 なりた あさか 7

さよなら かわいいそなた むすこ 竜森小学校 二年 梅原 圭祐 7

入選・佳作

読書感想文

小学校の部 特選

「まほうのなべ」を読んで 綴子小学校 三年 高橋 乃都 19

一生けんめい生きたたいよう	鷹巣西小学校	四年	成田美鈴	20
「デビルズドリーム」を読んで	綴子小学校	五年	湊彩歩	21
最高のバッテリー	鷹巣南小学校	六年	長岐和弥	22
中学校の部 特選	鷹巣南中学校	三年	中嶋育美	24
「八千公物語」から学んだ事
高校・一般の部
「明日の記憶」を読んで	藤田淳	26

平成十八年度北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覧 28

平成十八年度北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覧 30

応募された方々 33

審査の先生 感想文 亀山恵子(阿仁中校長)

日沼民子(鷹巣小) 奥山法子(竜森小)

工藤律子(鷹巣西小) 宮腰伸子(鷹巣東小)

能登裕子(鷹巣中央小) 吉田聖子(鷹巣南小)

佐藤たけこ(綴子小) 中田敦子(鷹巣南中)

安部晃幸(鷹巣中)

感想画 和田克郎(前扇田小校長)

佐々木久隆(朴瀬小校長)

本文中のカットは

『北の造形 第三十九集』より抜粋

……… 発刊によせて ……

「読書のすすめ」

北秋田市教育長 三澤 仁

十八年度の北秋田市読書感想文コンクールへの応募は百二点（小96、中4、高・一般2）で昨年よりも七点多く、読書感想文コンクールの方は三百八十九点（幼・保157、小232）と昨年よりも実に六十三点も多い応募でした。お忙しの中、作品を応募してくれた園児や小・中学生、さらには高校生や一般の皆さん、そして指導して下さった先生方には、本当にありがとうございます。また、たくさん作品を丁寧に審査して下さいました先生方には、深く感謝申し上げます。

百ます計算で有名な陰山英男先生の著書『学力低下を克服する本』の中で、保護者に対して次のように訴えています。「国語については、家庭ではまず読書の楽しみをお子さんに教えて下さい。言語能力を高める意味で、決定的な意味を持つのが読書です。読書なしに学力の向上はないと断言してもいいと思います。リビングなど、普段家族の集うところに本があるということが大切です。そして、しっかりとした本棚

の一つぐらいないと読書が習慣化することは望めないでしょう。」

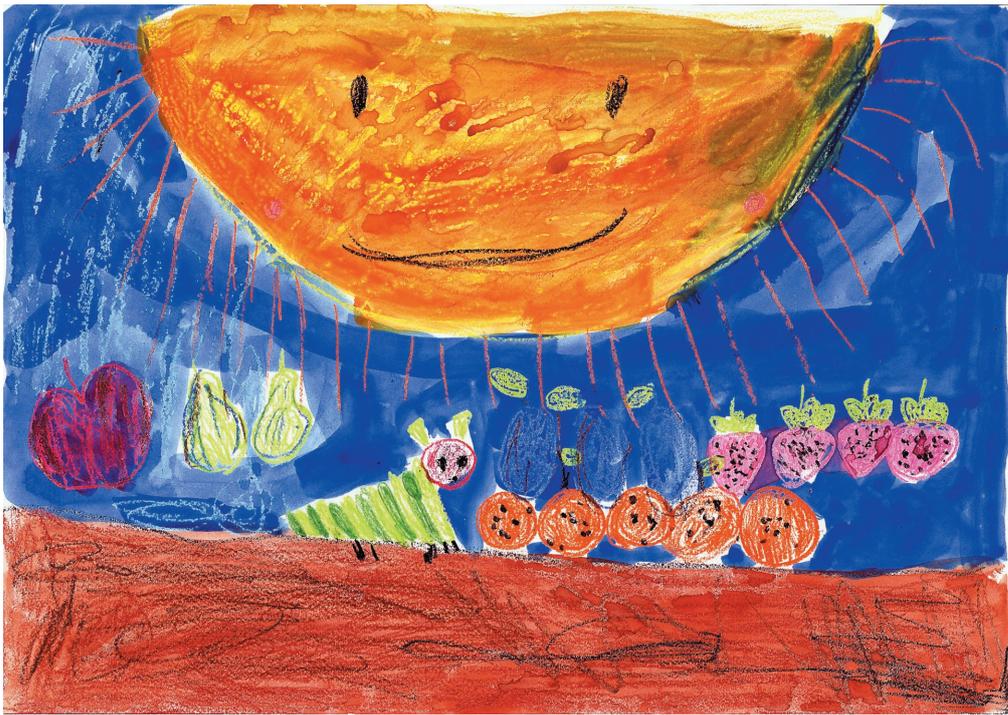
この先生は希望的観測で言っているではありません。ご自身の経験や実践データを根拠に言い切っているのです。先生のお考えには私も同感です。昨年のこの『読書のすすめ』欄に書きました。「私たちが物事を考えたり、自分の考えを述べたりするとき、すべて日本語で考えたりまとめたりする。すべての知的活動の基礎になるのは、国語です。」と。

未知の世界に旅したり、すてきな人と接したり、生きる喜びを味わうのも、読書を通して可能になります。言葉が豊富になることで、考えも深まり、話し方もしっかりしてくる」と間違いありません。

学校や市の図書館には、まだ皆さんが見たことも読んだこともない本がたくさんありますよ。どしどし借りて、頭をきたえましょう。良かったと思う日がきつと来るはずですよ。

読書感想画

《 特 選 》



鷹巣教会幼稚園 6歳 佐藤 由知華

あおむしが、小さくてかわいいなと思いました。りんごやなしやみかんやいちごがおいしそうでした。

ちいさなあおむし

書名 はらぺこあおむし
著者名 エリック・カール



米内沢保育園 5歳 近藤 亮汰

あおむしはおなかがぺっこぺこ。りんご、すもも、いちご、みかん、チョコレートケーキ、アイスクリーム、ピクルス、ぺろぺろキャンディー、さくらんぼパイ、カップケーキ、すいかをぜんぶたべて おなかがいたくてないちゃった。でも、あおむしはきれいなきれいなちょうになりました。

わーい ちょうになったよ

書名 はらぺこあおむし
著者名 エリック・カール



あったかくて、たのしい、てぶくろのおうち

書名 てぶくろ
著者名 ウクライナ民話より

合川南小学校 1年 なりた あさか

男の子がおとしたてぶくろの中に、つぎつぎといろいろなどうぶつがはいついて、たのしかったです。てぶくろの中をおうちみたいにしてみました。えんとつをつけたり5本ゆびをおへやしにしたりしてくふうしました。



さよなら かわいいそなた むすこ

書名 大白鳥の空
著者名 手島 圭三郎

竜森小学校 2年 梅原 圭祐

このお話 白鳥たちがびょうきの子どもをともしんぱいしました。けっきょく白鳥はしんでしまいます。ぼくがこの場面を絵をかいたわけは、白鳥の子がしんでみんなかなしそうにしていたけど、大空に大きくうつつてかんどうしたからです。

《 入 選 》



はやくたすけて おかあさん
鷹巣東保育園
5歳 松橋 一 弥



くまさんもどうぞ
鷹巣西幼稚園
6歳 桜庭 実 夢



つるさん げんきになってください
鷹巣東保育園
6歳 佐々木 芽 生



したをめがけて いっすんぼうし
鷹巣北幼稚園
5歳 みなと ゆうが

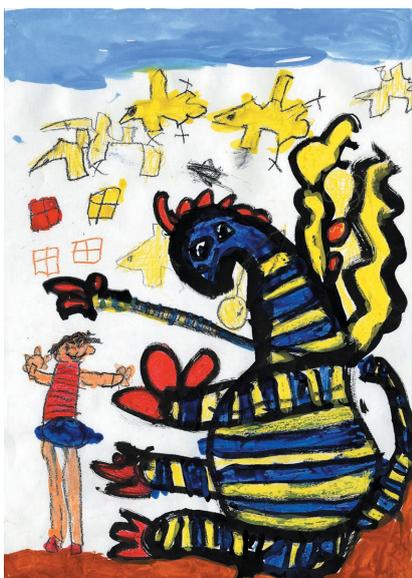


わるいおかみ
鷹巣東保育園
5歳 仲 居
奨



でっかい でっかい さつまいも
鷹巣北幼稚園
5歳 はたけやま くるみ

《 入 選 》



前田保育園
5歳 織山 智道

さあ
おいわいだ!

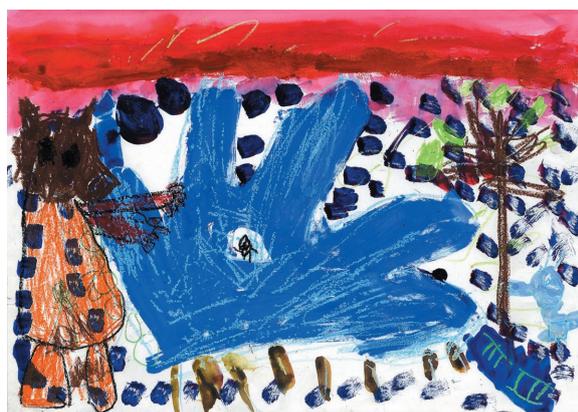


竜森保育園
6歳 梅原 琢也

悪いオニよ
かくごせい!



うんとこしょ!どっこいしょ!
前田保育園
6歳 春日 真由



てぶくろにいれて!
鷹巣教会幼稚園
5歳 佐々木 あずる



へんてこなおでこをみてみたら
鷹巣西小学校
1年 長崎 夏海



ねこくん今日はどこに行く?
七日市保育園
6歳 成田 伊織

《 入 選 》



もうすぐおじいさんがたすけにきてくれるよ
 綴子小学校
 1年 湊 智 貴



ルリ、いっしょにあそぼ
 綴子小学校
 1年 工 藤 夕 奈



いじわるルクチひめをたすけにいこう
 米内沢小学校
 1年 木 村 まつり



ガニランつかまえたぞ
 鷹巣小学校
 1年 畠 山 桜



大きなかぶがぬけないわけ
 合川東小学校
 1年 佐 藤 浩 哉



サーカスこやへようこそ
 浦田小学校
 1年 白 沢 理 奈

《 入 選 》



「ドングリ山のやまばあさん」を読んで
鷹巣小学校
2年 柴田 菜々子



なかよしになってよかったね
鷹巣西小学校
2年 佐藤 夏綺



カラフルクッキー
鷹巣小学校
2年 工どう なるみ



本当はゆう気のあった豆太
鷹巣西小学校
2年 高橋 和



やっと
なかなおりました
鷹巣東小学校
2年 村上 奈緒

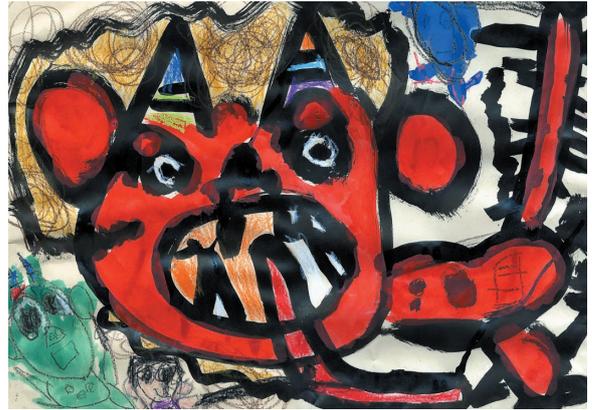


いつでも海が見えるよ
綴子小学校
2年 三澤 瑚子

《 佳 作 》



ソリであそんだよ
綴子保育園
6歳 照内 琴葉



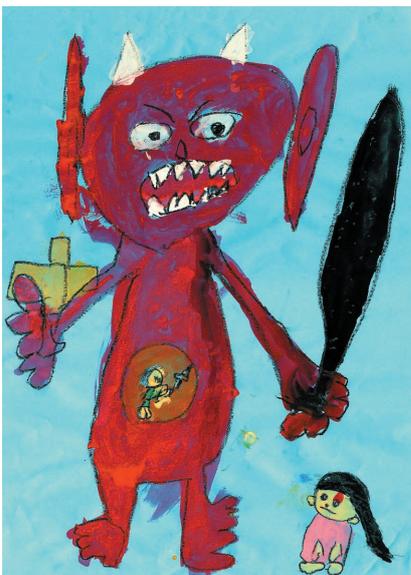
いっすんぼうしには かなわない
鷹巣北幼稚園
5歳 あかし ゆうや



まいったか いじわるさる
鷹巣中央保育園
5歳 鈴木 春香



そりあそびしてみたいな
綴子保育園
6歳 布田 優



まけてたまるか いっすんぼうし
鷹巣中央保育園
6歳 小坂 峻太



ちやいろのブーツができました
鷹巣東保育園
6歳 高橋 史佳

《 佳 作 》



よろこんでいる ちょうちょ
南鷹巣保育園
6歳 たまつくり なおや



おらにはだれもかなわない
米内沢保育園
6歳 北林 朋也



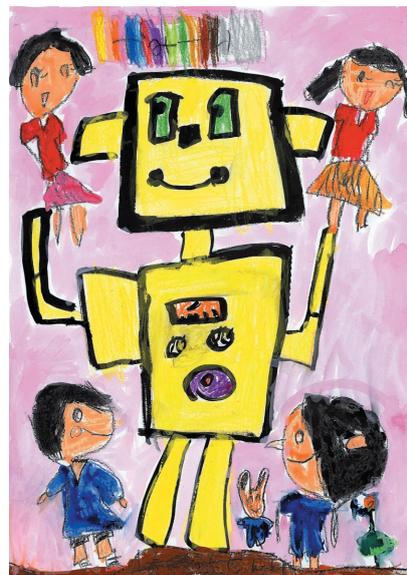
あめがやんだら さあたいへん
鷹巣東小学校
1年 村上 理菜



おすなばであそんでいる あおむしくん
南鷹巣保育園
6歳 いしかわ ことみ



おかあさん いってらっしゃい
鷹巣西小学校
1年 佐藤 泉里



みんな ぼくのおともだち！
前田保育園
5歳 森川 七海

《 佳 作 》



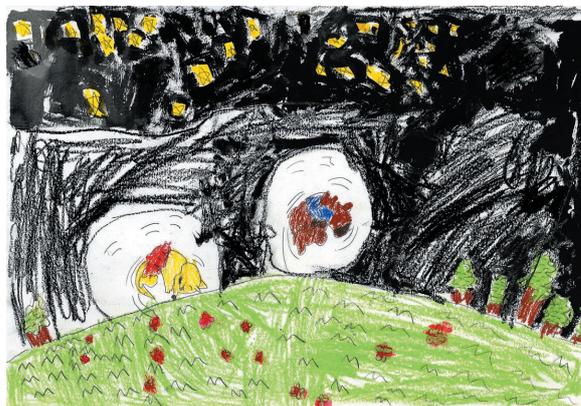
ながれ星がきれい
鷹巣南小学校
1年 山口 玲 匡



サンタさんにあつたよ
鷹巣西小学校
1年 津谷 幸 希



さよなら きつねのおやこ
竜森小学校
1年 武田 沙 輝



大すきなともだち
鷹巣中央小学校
1年 相馬 真 彩



大きなかぶがぬけないわけ
合川東小学校
1年 関 美 喜



なかよし
鷹巣中央小学校
1年 中嶋 千 夏

《 佳 作 》



「ライギョのきゅうしょく」を読んで
鷹巣小学校
2年 金 沢 ひ な



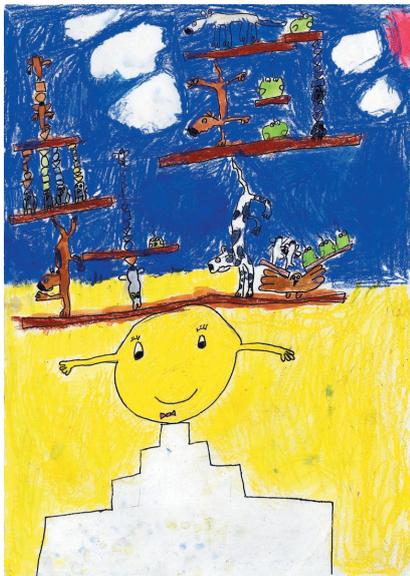
ティラノサウルスとあそんだよ
浦田小学校
1年 佐 藤 亮



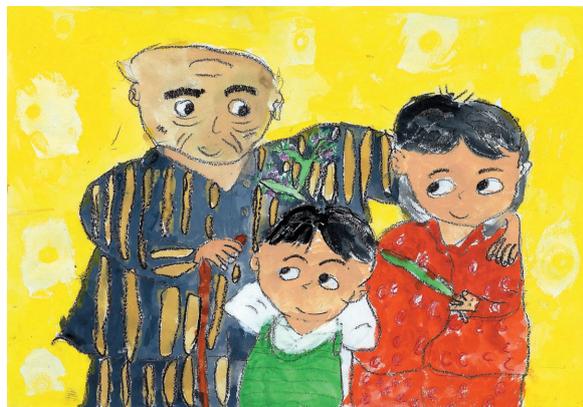
おさるがすなはま
鷹巣小学校
2年 萩 野 渚 夏



やっほーっ！てぶくろでパーティーだ
合川南小学校
1年 とのづか ゆうせい

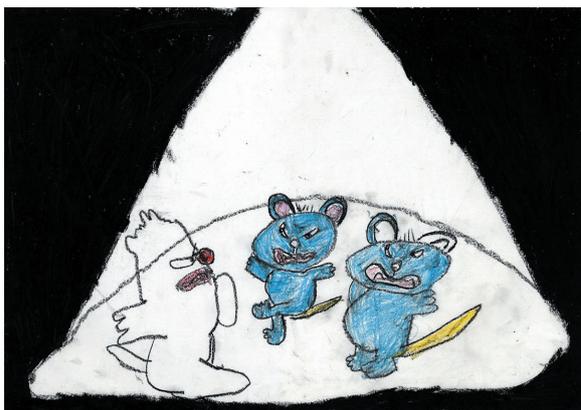


バーバ
ズーの上で
鷹巣中央小学校
2年 亀 山 侑 斗



おじいちゃん長生きしてね
綴子小学校
2年 高 橋 和 希

《 佳 作 》



アッチとチとキのおどかしあい
合川東小学校
2年 佐藤 千博



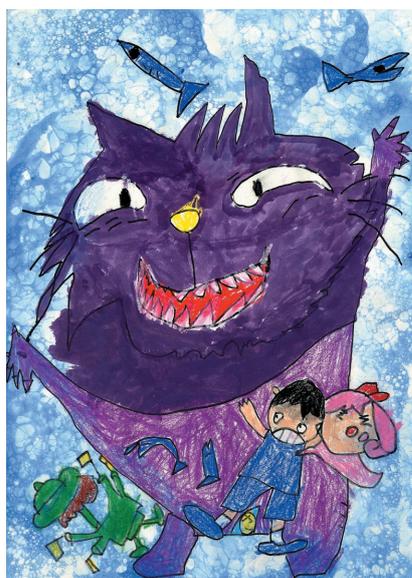
うさぎ村のうさぎ時間
前田小学校
2年 簾内 咲帆



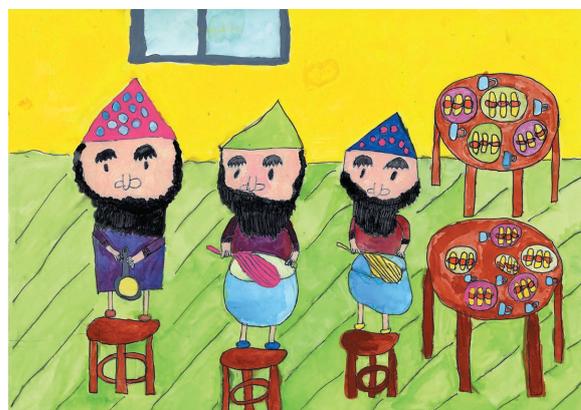
さけのおおすけ今のぼる
大阿仁小学校
2年 春日 健人



きれいな月を見てるくじら
鷹巣南小学校
2年 佐藤 響



ねこおぼけ
さんじょう!
合川南小学校
2年 田中 和輝



こびとのクレープ作り
米内沢小学校
2年 金 千咲季

表現前のある子どもの言葉より

私は この絵に
自分の心のなかを かきたいと思っています。
自分の想像力で 考えたこと
そのまんま 絵にしたい
自由に 絵にかきたい

読書感想画講評

今年度は、幼稚園・保育園も課題図書をなくしたせいも、絵に広がりが見られ、読書をした楽しさやうれしさが、画用紙いっぱいに表現されて、とてもよかったと思います。一生懸命に頑張った子どもたちとご指導をされた先生方に感謝致します。

審査の観点は、前回と同じく次の4点にしました。1つ目は子どもが読書をして受けた感動を素直に表現しているか。2つ目は表現したいもの(主題)に向かって思いっきり表そうとしているか。3つ目は表現技法が工夫されているか。4つ目は色彩は明るく豊かで構図も工夫されているかです。

ある教育テレビの番組で、図画工作の時間に子どもたちが「ドキドキワクワク止まらない」と言いながら熱中して絵を描いている様子を放映していました。このことから表現活動のキーワードは、子どもたちを「夢中」にさせることです。そのためには、子どものよさを認め、よく誉めることです。特に幼児や低学年では、子どもたちのつづやきをよく聞き、お話を引き出す環境づくりに努めることです。根気のいる作業ですが指導の根本原則です。

次に特選になったお友達の作品を紹介致します。

幼稚園・保育園(年長児)の部

鷹巣教会幼稚園 佐藤 由知華(6歳)

題名 「ちいさな あおむし」

書名 「はらぺこ あおむし」

評「画面の上部に大きく描かれた太陽が、見る人の心を強く引きつけるすばらしい作品です。その太陽が、小さくてかわいいあおむしやリンゴ、ナシ、ミカン、イチゴなどをあたたかく見守っているほほえましい雰囲気がよく表現されています。」

幼稚園・保育園(年長児)の部

米内沢保育園 近藤 亮汰(5歳)

題名 「わーい、ちょうになったよ」

書名 「はらぺこ あおむし」

評「黒い台紙の上に白い不透明絵の具で、思いっきり、大きくちょうを描き、回りには原色の色の模様を貼ったり、形押しをして工夫した素晴らしい作品です。さらに色の対比を強めて、輝くような作品に仕上げました。」

小学校1年の部

合川南小学校 なりた あさか

題名 「あたたかくて、たのしいてぶくろのおうち」

書名 「てぶくろ」

評「凍てつくような寒い冬の感じと暖かいてぶくろの感じを、対照的な色彩で表した素晴らしい作品です。さらに5つの指のお部屋の中で動物たちが楽しそうに遊んでいる様子がよく表れた心あたたまるやさしい作品です。」

小学校2年の部

竜森小学校 梅原 圭祐

題名 「さようなら かわいそうなむすこ」

書名 「大白鳥の空」

評「画用紙をはみ出して大きく描いた白鳥が、画面全体をおもしろい構図にしてスケールの大きい作品にしています。また子どもの白鳥ともよく調和しています。特に白い羽根を細かい筆使いで工夫しているのが素晴らしいです。」

前大館市北秋田郡造形教育研究会会長 和田 克郎
秋田県造形教育研究会副会長 佐々木 久隆

讀書感想文

小学校の部 特 選

「まほうのなべ」を読んで

綴子小学校 三年 高橋 乃 都

ぼくは、まほうのなべって、いったいどんななべなんだろうと、ワクワクしながらこの本を読みました。

まずしい村で、お母さんと二人ぐらしの女の子が、食べ物がなくになると、森へ行つて食べ物をさがします。でも、くるみーこ、いちご一つぶも見つからず、つかれて木にすわってなきだしました。この様子にくらべると、ぼくは、なんて幸せなんだろうと思いました。食べたい物は、お父さんやお母さんが何でも食べさせてくれます。おまけに、きれいな物をのこしてすててしまつたりすることもありません。だから、お父さんに、時々、「まずしい国では、食べたたくても食べることができずに、こまつている人がたくさんいるんだよ。」

と、言われます。ぼくは、とってもめぐまれていることに感じやしななければならぬなあと思ひました。

でも、その女の子がいない所に、マントをかぶつたおばあさんがあらわれて、まほうのなべをくれました。そのなべを火にかけて

「にえろ、小さななべよ、にえろ。」

と、まほうの言葉をとなえると、たちまち、おいしいオートミールでいっぱいになります。そして、おなががいっぱいになると、「止まれ、小さななべよ、止まれ。」

と、となえると止まるのです。なんてべりいなべなんだろうと、ぼくは、びっくりしました。女の子は、それから毎日のように、なべにまほうをかけて食事をするができるようになったので、よかつたなと思ひました。

ところで、女の子のお母さんもおなががすぎ、なべを火にかけたところ、止めるまほうの言葉をわすれてしまい、オートミールが村中にこぼれてしまいました。オートミールが、なべからあふれ出したときには、どうなつてしまふんだろうと、とても心配になりました。でも、そのおかげで、村中の人たちが助かるなんて、おもいもしませんでした。なぜって、流れ出したオートミールは、まずしい村中の人たちが何日食べても、なくなることがなかつたからです。そして、女の子とお母さんと村の人たちは、まほうのなべのおかげでおなかいっぱい食べることができるようになつて、ぼくも、うれしくなりました。

ぼくは、もし本当にこんななべがあつたら、世界中のまずしい国の人たちに使わせてあげたいなあと思ひました。台風や地しんで家をつしなつた人や、せんそうでうしなつた人、世界中では、ごはんを食べられない人たちがたくさんいるそうです。はたらいてもはたらいても生活が苦しい人たちにも、まほうのなべがあつたらどんなにいいだろうと思ひました。

ぼくは、この本を読んで、毎日食べることができるとは、本当はすごいことだとわかったし、これからは、食べ物をそまっにししないで大事にしていこうと思いました。

講評

毎日何気なく食べ物を残していたことが、実は大変なことなのだ気づいた乃都さん。世界中の貧しい国の人たちのことや、事情があつて、御飯が食べられない人たちのことまで思いをめぐらせ、助けてあげたいと思ったことがすばらしいです。

「まぼつくなべ」から感じたことを、これからも忘れずに生活していつてほしいと思います。

一生けんめい生きたいよう

鷹巣西小学校 四年 成田 美鈴

たいよう、今天国で元気に遊んでいますか。つらいことがいっぱいあつたけど、たいようはよくがんばったね。私はいよいよに会ったことはないけど、この本を読んで勇気をもらいました。八月十九日の朝早くに、しいく係の人がキリン小屋を見に行くと、あみ目のかわいいキリンの子が生まれていました。その

子は地元の小学生に考えてもらった「たいよう」という名前になりました。たいようという名前は明るくて、元気があつてよい名前だなあと思いました。キリンの子は、お母さんのおなかの中から四百五十日もかかって生まれてくるそうです。人間の赤ちゃんより長い時間、おなかの中にいるとは思わなかったのでびっくりしました。また、生まれてすぐ、自分の力で立ったり、ミルクを飲んだりできるのでたくましく、生きる力が人間より強いのだなと思えました。人間の赤ちゃんは、何でもやつてもらわないといけないのにな。そう考えると、お母さんやお父さんにあまえてばかりじゃなく、自分でできることはしっかりとしなければいけないんだなと思いました。

昨年七月に、私の通う学校に大森山動物園の園長さんがお話しをしいらっしゃいました。しま馬のほねを見せてくれたり、動物をし育てることに楽しさやむずかしさも教えてくれました。足がおれたときのことやしゅじゅつをしてぎ足をつけた時のこと、その後のたいようの様子などについてです。じゅう医さんやし育係の人たちも、たいようのためにがんばったけど、一番生きようと必死だったのはたいようだったというお話を聞いたとき、人間のように言葉は言えないけど、たいようのがんばろうという心が分かったような気がします。ふだんの生活や勉強で、すぐにあきらめたり、まっ、いいやと最後までやり通さずに、と中であきらめてしまったりしたことがあります。たいよ

うのがんばった様子を思うと、見習わないといけないと強く思いました。

私の家では犬をかっています。昨年春かじめました。その時、お母さんと約そくをしました。それは、最後まで責任をもつて犬をかうということです。自分の勝手に、散歩をしなかったり、えさをあげなかったりするのはいけませんと言われました。私は

「必ずできるよ。」

と言ったけど、毎日続けて世話するのはむずかしくて大変でさぼったこともありました。でも、たいようのことを知ってからしっかりお世話をし、大切にしていかなければならないのだと思いました。これからも、家族の一員として、妹や弟のようにお世話をしていきます。花も動物も人間もみんな命があります。その一つ一つの命を、たいようから学んだように大事にしていきたいです。

講評

きりんのたいようのお話と大森山動物園の園長さんから実際に聞いたお話を結びつけて考えたところがすばらしいです。そのことから自分の家で飼っている犬の世話をがんばり命を大切にしようとする美鈴さんの強い気持ちが伝わってきました。

「デビルズドリーム」を読んで

綴子小学校 五年 湊 彩歩

最近のニュースで「いじめによる自殺」が話題になりました。誰にも相談できず、心は悲しみと辛さで苦しくなったのだと思います。私のクラスはみんな仲よしなので、みんないじめにはあまり関心がありません。いじめにあった人も信らいてくれる人に相談できたらずい気持が楽になったと思います。

この本の主人公「アキ」は四年生の時両親のりこんによって転校し、長崎というところにお母さんと住むことになりました。お母さんの帰宅を待つ数時間の心細さを埋めるためにインターネットでクラスのトモネとチャットをはじめます。二人のやりとりは読んでいる私までドキドキします。ふだん学校で言えない本音や相談事をけい示板「デビルズドリーム」で語るので、二人はチャットをしていくうちにいろいろな話を知っていきます。昔の戦争の話からばくだんで犠牲になった人々のこと、カトリックの歴史と信仰の深さ、たん任の先生の考えに対する不満などです。二人とも、自分のさみしい時間を楽しく過ごすのがあたりまえになったのです。こんな二人のチャットのやりとりを読んで、私は友達っていいなあと思いました。そして、だれにでもこんな友達がいたら自殺する人もいなくなるのになあ

と思いました。

二人はチャットをしていくうちにだんだん人の悪口をデビルズドリームに書くようになりました。たとえ二人しか聞くことができないいい掲示板でも、悪口を書き込むことはいけないことだと思います。それに気づいたトモネは、

「このチャットお休みしない。」

とアキに伝えることができました。そしてアキもトモネの意見をちゃんと受け入れることができました。悪口を言ったりすることはとても悪いことですが、悪いことに気づけることはとてもえらいと思います。しっかりと相手の心のおく底を考えられるようになったアキとトモネはチャットを通して少しだけ成長したような気がしました。

アキはトモネだけでなく、お母さんと本音でたくさんのお話を話すようになります。二年前のりこんの理由や、出張で長崎へ来たお父さんからの食事のさそいの事も、まるで仲よしの友達のようにです。毎日帰りがおそいお母さんも、そんなお母さんを待つアキもおたがいが一緒にいる時間を大切に、二人の心のきりも近くなつたと思います。私も最近はお母さんと友達のように話すこともあり、アキたちの会話がとても身近に感じられました。この本を読んで、改めて何でも話せる人がいることはいいなあと思いました。私にはそんな親も友達もいます。こまった時も、うれしい時も、いつも一緒にいてくれます。これから自分に関わる人たちを大切にしていきたいと思えます。

そしてこの本のアキたちとの出会いも大切にしたいと思います。

講評

自分とは少しかけ離れた主人公アキとトモネのやりとりから、今の生活を見つめ直し、感想を深めて表現しています。

本音を素直に伝えることのできる家族や友達はかけがえのない存在です。彩歩さんは、その大切さに改めて気づいたのでですね。

最高のバッテリー

鷹巣南小学校 六年 長岐和弥

ぼくは三年間野球でがんばってきた。中学校に入学しても、野球部に入りたいと思っている。だから「バッテリー」という題名を見たときにこれだと思って思った。

野球は、確かに打撃も守備も走塁も大切である。しかし、バッテリーがいなければ試合そのものが成り立たない。なくてはならない存在であるバッテリーを組むということはどんな気持ちになるんだろうか。

ぼくには、仲の良い三Kトリオと呼ばれるイニシャルKでそ

ろう友達がいる。べったりくっついてるわけではないけれど、困ったことがあると助けてくれるたよれる友達だ。ぼくらが野球部をがんばっていた時は、放課後に一緒にランニングをしていた。ぼく以外の二人は、足が速く、長距離も得意だ。だから、二人が本気で走ると、ぼくなんかついていけないはずがない。しかし、一緒に走るときは、誰もなにも言わないけれど、ぼくのペースに合わせてくれた。ぼくはぼくでちよつと無理をし、二人はちよつとペースを落とす。そんなランニングが楽しかった。あきつぱく、走るのが嫌いなぼくが、けっこう続けられたのは、二人の友情が気持ち良かったからだと思う。巧と豪のやりとりは、三Kトリオのことを思いださせてくれた。

自分は野球をするために生まれてきたと自信たっぷり、巧と相手の気持ちを考えられる豪。二人は小学校からの友人でかなり親しかった。キャッチャーなんかと言ってしまう巧に本気で起こる豪。腹いっばいけんかのできる二人がうらやましくなってきた。

ぼくたち三Kは、仲がいい。しかし、けんかといえるほどのけんかにはしたことがない。気まずくなることがあっても、それ以上にはならないように、次の日、なんとなく仲直りしている。一緒に楽しむだけでなく、けんかのできる友情を育てたいと思った。

バッテリーを組むには巧や豪のように、友達でなおかつ深い信頼関係がなければいけないと思う。そんな友達がぼくにもで

きるのだろうか。欲しがっているだけでは、手に入らない。ぼくがまず成長しなければいけないと思う。

「おれを、信頼しろ」と言っても、ぼくが何も知識もなくだらしなない行動をしていたらどうだろうか。けんかのできる友達ができるだろうか。そんなはずはない。

以前校長先生が信頼残高の話をしてくださった。ぼくの信頼残高は友達にとってどのくらいだろうか。普段の生活の積み重ねが、友達の信頼残高を高めると思う。ぼくは、もう少しで中学生だ。新しい友達や先輩との出会いが待っている。野球のバッテリーだけでなく、友情の、勉強のバッテリーをたくさんの人と組めるように、ぼくの信頼残高を増やしていきたい。

講評

野球というスポーツを通して築かれる友情、絆、信頼関係。心に残っている校長先生のお話と共に、和弥さん自身が、周囲の友達との関係をよりよくしていこうと、強く決意している様子が伝わって来ました。



ペットボトルをもつ友だち
綴子小学校
2年 おか村 たか

「八千公物語」から学んだ事

鷹巣南中学校 三年 中 嶋 育 美

愛くるしい子犬の顔に心ひかれて、おもわず手に取って見たのが、この本を読み始めるきっかけである。少し不純な動機であつたが、地元の犬が出ているという事で、親近感があつたのかも知れない。

実際に読んでみると、本当に実在していた物語だつたためか、驚きや感動も大きかつた。八千公はすごく素直でかわいらしく、読んでいる私も和まされた。だから、読んでいる途中に八千公をいじめる人達が現れると、必要以上にムキになったり、腹を立てたりもしてしまつた。その人達が許せなかつたから。自分でも驚く程だつたので、それだけ八千公に情が湧いていたという事なのだろうと思つた。

さて、その八千公はというと、私の市のすぐ近くにある大館市で一九二三年に生まれた。内容を簡単にまとめると、東京の上野英三郎教授にもらわれてきて、上野教授が亡くなつたあと、渋谷駅に迎えにいって来たというとても忠実な犬の実話である。それが今でいう「忠犬八千公物語」だ。

忠犬とは、辞書で調べてみると忠義な犬という意味で、この

物語の時代の背景である戦時中には、とてもふさわしい犬だつたと思う。

普通の犬だつたらこの物語のように、主人の死後も習慣どおりに、毎日迎えに通つたりしないだろう。駅前を通りかかった人達に邪魔もの扱いされても、めげないでいられるのだろうか。：。そのような点から、教授が八千公に愛情があつたのと同じく、八千公自身にも、もしかしたらそれ以上の教授に対する愛情があつたのだと思う。その教授へのひたむきな愛情は、私の想像をはるかに超えていた。待っている間には、すごく教授を恋しく思っていただろう。それに一刻も早く会いたかつたのではないだろうか。それはもちろん八千公だけではなく、教授も同じ気持ちだつたと思う。そのような教授と八千公の関係を、私は素晴らしいと思う。

教授は物語の中でも、八千公を「ペット」としてではなく、一匹の一人前の犬として接している。だからこそ、すぐ捨てたり、他人に預けたりしなかつたのだろう。今の現代に、このような考えを持つ大人がもつと多く増えてくれれば、保健所は必要がなくなると思うし、やたら野良犬が増えて困るという事もなくなるのではと思う。犬も人間と同じ感情を持った生き物なのだから。：。私も教授を見習つて「飼う」という気持ちで動物に接するのではなく、「一緒に暮らすパートナー」という気持ちで接していけるように、今後気を付けていきたい。そうすれば、友情や愛情もいっそう湧くのではないかと思つた。

物語を読んでいて、八チ公のような犬とせび暮らしてみたいとも思った。けどそのためには、自分自身ももっといい主人になってあげられなくては犬がかわいそうだという事にも気が付いた。だから、今から少しでも自分をさまざまな面で磨いておきたいと思う。

でも、自分をいくら磨いても犬の心理は私達には分からない。人間から見えていい主人に見えていても、犬からの見る目ではよくない場合もあるだろう。それは、とても難しい事だと思う。でも、主人が一生懸命犬をかわいがったり、愛情をそそいだりすると、多少なりとも、犬にも気持ちが伝わるのではないだろうか。少なくとも、犬にも犬なりの考え方があると思うし、また、人間の心もかなり分かるのだと思う。そうして、お互いの気持ちを通い合った時、最高の家族になれるのだと私は思う。だから多分、犬にばかり求めるのではなく、人間が、十分自分の気持ちを犬に伝えるために行動する事が、一番良い方法ではないかと思う。

そんなこんなでいろいろ考えていると、さまざまな角度からもっと見直したいと思う問題を、物語を通じて発見する事ができた。普段の日常生活でなにげなく使っている「ペット」という言葉の意味にもっと気を付けなくてはいけないという事や、犬も人間と同じような感情を持った動物であるということをもっと自覚する事などが、私の普段できていない問題点のいい例である。そのような点についてはよく考えて、今後の日常生

活に生かしたいし、役立てていきたいと思っている。また、今回の事を忘れて再び学び直す事のないようにもしたい。この物語を読んでいなかったら、私は自分の改善すべき点に気づく事もないままだったかもしれない。いつか来るであろう、犬をパートナーとして一緒に暮らせる日のために、自分自身をもっと変えていきたい。そう思わせてくれたのも、この物語である。「今回、読んだ本がこの本で良かった。」私は今、本当にそう思っている。

講評

最高のパートナーとして、お互いの気持ちを通い合わせる八チ公と飼い主の関係から、生きていくために必要なものを感じながら本を読み進めています。

相手にばかり求めるのではなく、相手の立場になって考えること、これは人間同士の関わりにおいても大切なことです。

中嶋さんも、読み進めながら視界が開けていくのを感じたのではないのでしょうか。



考えごとをしている友だち
阿仁合小学校
5年 原田 麻紀

「明日の記憶」を読んで

藤田 淳

「誰だっけ。ほら、あの人」

最近、こんなせりふが多くなった。

この物語の冒頭の二行。

主人公・佐伯は広告代理店の営業部長。五十歳。妻の枝実子と二人暮らし。一人で暮らしている娘、梨恵は近々身重の体で嫁いでいく。

姿、型は頭の中にあるのに名前が出てこない。普通は「ど忘れ」ですんでしまふ。また、考えるのを止めた時、「フツ」と思ひ出す。その程度の事。

しかし、佐伯の場合、そんな「ど忘れ」が頻繁になる。営業職にありながら、クライアントとの打ち合せをすっぱかす。本人は約束した覚えすらない。加え、体調の悪さも感じる様になり、自身「ウツ病」を疑い精神科を受診する。「若天性アルツハイマー」の診断。

私自身、今年四十歳になる。そんな病気は、まだまだ遠いところにあるものと思っていたが、あと十年、過去十年を振り返っても、それ程長い時間とも感じない位の時間。その十年後の可

能性であることに、驚きと、怖さを感じた。

佐伯にとっては、激震のショックであつたらう。それは、父親もアルツハイマーを患い亡くなっているからだ。妻の枝実子は

「だいじょうぶ。きつと治るから」

と励ます。しかし、この病気が、単に記憶を奪っただけではなく、人格までも破壊し、死に至る病だということを知っている佐伯にとって、どれだけの意味を持つものであつたらうか。

佐伯の病状の進行具合の描写も身の縮む思いで読んだ。クライアントを尋ねる行き道で、記憶が抜け落ちてしまい、進むことも、戻ることでもできなくなり、交差点の真ん中でうずくまり、クラクションや怒声を浴びる。交渉中の相手の名前が全く思い出せない。また、自分の感情を抑制できなくなり、突然怒り出す。

佐伯の発症後、治療に良いとされる事は全て取り入れようとする枝実子。食事の献立に始まり、浄水器。アルミニウムが体に良くないと聞くと、台所の調理器具が全て新しく変わり、果ては、脳を活性化するという数珠の様な物を出してくる。

「いくらしたんだ」

「…三十万…ちよつと」

「ただのガラス玉じゃないか!」

人の不幸につけ込みやがって…

イラ立つ佐伯。

父親の姿を知る佐伯は、介護施設への入所を考える様になる。枝実子はそれを拒絶する。

どちらも互いを思いやっつての事なのに、思う心が、二人の気持ちですれ違わせる。思いが強い分、あまえる心も閉じ込めてしまつたのだろうか？。結果、どちらがいい事なのかは解らないが…。

佐伯は、陶芸工房へ通い始めた。学生時代に少しだけかじつた事がある。病の不安を紛らわす為と、家族の事を忘れてしまつ前に、型に残る物。娘夫婦に夫婦茶碗をプレゼントする為に、しかし、そこでは、信頼する若手陶芸家が、教室の経営難から、佐伯の記憶障害を利用し、わずかな額の焼成代を繰り返して支払わされている事実に気付く。この頃には、どんな小さな事柄もメモにして持ち歩く様になっていたからである。創作に打ち込む事で、一時でも、病の所為ではなく、自らの意志で忘れられる唯一の場を去る事になる。怒りより悲しみを感じた。

娘の結婚式も済み、孫も生まれた頃には、婿の顔も思い出せない程に症状は進み、残された時間の少なさを感じた佐伯は、一人で介護施設を観に行く。その帰り道、学生時代に何度か通つた窯場へ足を向けた。

物語のラスト。突然一人で外出し、戻らない夫を探して来た妻と、それを見つけた佐伯。二人のせりふが悲しい。

「くんには、夕日がきれいですね」
その女性の横顔が泣いている。

「心配しないで、この道でだいじょうぶ。僕も一緒に行きますから」

そして互いの名を名乗り合う。

「枝実子っていいです。枝に実ると書いて枝実子。」

「いい名前ですね」

初めて出会った時と同じせりふだった。

講評

若年性アルツハイマーという難病をもつ主人公の悲しみや苦悩をしっかりと受け止め、愛する家族への思いと夫を気遣つ妻の献身的な姿から、「家族のきずな」や「生きること」を考えています。

最後には、これから再び歩んでいこうとする二人を温かく見守る藤田さんの姿が浮かんできて、生きる姿勢への温かい共感の気持ちを感じとれます。



くつろぐ友達
鷹巣小学校
6年 岡村 薫

平成十八年度 北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覧

小学校	三年生	特選 「まほうのなべ」を読んで	高橋 乃都 (綴子小学校)
		入選 あきらめない心	津谷 会美 (鷹巣西小学校)
		入選 「ゴミを拾うもも子」を読んで	長 岐 勇 佑 (鷹巣南小学校)
		佳作 「やまんばあさんの大運動会」を読んで	堀 内 亮 太 (綴子小学校)
		佳作 「生きるんだ、名犬パール」を読んで	長 岐 漣 (鷹巣南小学校)
		佳作 「アンバランスな放課後」を読んで	布 田 菜 穂 (鷹巣南小学校)
	四年生	特選 一生けんめい生きたたいよう	成 田 美 鈴 (鷹巣西小学校)
		入選 「命の重さはみな同じ」を読んで	長 崎 彩 子 (鷹巣西小学校)
		入選 「ガラスのうさぎ」を読んで	長 崎 夏 帆 (鷹巣小学校)
		佳作 「金色のクジラ」を読んで	小 松 裕 理 香 (綴子小学校)
		佳作 かけがえのないおくりもの	藤 原 歌 生 (鷹巣中央小学校)
		佳作 ゆめをあきらめない	佐 藤 駿 (鷹巣南小学校)
	五年生	特選 「デビルズドリーム」を読んで	湊 彩 步 (綴子小学校)
		入選 「ジローのあくしゅ」を読んで	野 呂 俊 樹 (鷹巣西小学校)
		入選 自分らしさ	新 屋 湧 (大阿仁小学校)
		佳作 「ダニエルのふしぎな絵」を読んで	柴 田 貢 太 朗 (鷹巣小学校)
		佳作 コンスタンチン君助かってよかったね	千 葉 颯 都 (鷹巣南小学校)

六年生

特選 最高のバッテリー

入選 ふつつってなんだろう

入選 はじめてみんなと帰った日を読んで

入選 白旗の少女を読んで

佳作 「六十億個の缶飲料」を読んで

佳作 子ぎつねへレンガのこしたもの

佳作 さとうきび畑の唄を読んで

佳作 キキと一緒に成長の旅へ

長岐 和弥 (鷹巣南小学校)

高橋 佳那子 (鷹巣東小学校)

中林 瑞穂 (鷹巣南小学校)

加賀 春菜 (米内沢小学校)

佐藤 僚 (鷹巣小学校)

福島 洋平 (浦田小学校)

佐藤 美咲 (前田小学校)

平川 美里 (前田小学校)

中学校

二年生

佳作 「五体不満足」を読んで

佳作 暗いところで待ち合わせを読んで

長岐 綾香 (鷹巣南中学校)

小塚 恵 (鷹巣南中学校)

三年生

特選 「八千公物語」から学んだ事

入選 海を読んで

中嶋 育美 (鷹巣南中学校)

神成 真友子 (鷹巣南中学校)

一般

特選 「明日の記憶」を読んで

入選 「チーズはどこへ消えた」を読んで

藤田 淳

中嶋 美枝子

平成十八年度 北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覧

幼稚園・保育園	特選	ちいさなあおむし	佐藤 由知華（鷹巣教会幼稚園）
	特選	わーい ちょうになったよ	近藤 亮汰（米内沢保育園）
	入選	くまさんもどうぞ	桜庭 実夢（鷹巣西幼稚園）
	入選	したをめぐけて いっすんぼうし	みなと ゆうが（鷹巣北幼稚園）
	入選	でっかい でっかい さつまいも	はたけやま くるみ（鷹巣北幼稚園）
	入選	悪いオニよ かくごせい!	梅原 琢也（竜森保育園）
	入選	つるさん げんきになってください	佐々木 芽生（鷹巣東保育園）
	入選	はやくたすけて おかあさん	松橋 一弥（鷹巣東保育園）
	入選	わるいおおかみ	仲居 奨（鷹巣東保育園）
	入選	てぶくろにいられて!	佐々木 あずる（鷹巣教会幼稚園）
	入選	ねこくん今日はどこに行く?	成田 伊織（七日市保育園）
	入選	うんとこしょ!どっこいしょ!	春日 真由（前田保育園）
	入選	さあ おいわいだ!	織山 智道（前田保育園）
	佳作	いっすんぼうしには かなわない	あかし ゆうや（鷹巣北幼稚園）
	佳作	まいったか いじわるさる	鈴木 春香（鷹巣中央保育園）
	佳作	まけてたまるか いっすんぼうし	小坂 峻太（鷹巣中央保育園）
	佳作	ちやいろのブーツができました	高橋 史佳（鷹巣東保育園）
	佳作	ソリであそんだよ	照内 琴葉（綴子保育園）
	佳作	そりあそびしてみたいな	布田 優（綴子保育園）

小学校 一年生

佳作	おすなばであそんでいる	あおむしくん	いしかわ	ことみ(南鷹巣保育園)
佳作	よろこんでいる	ちようちよ	たまつくり	なおや(南鷹巣保育園)
佳作	おらにはだれもかなわない	北林	朋也(米内沢保育園)
佳作	みんな	ぼくのおともだち	森川	七海(前田保育園)
特選	あったかくて	たのしいてぶくろのおうち	なりた	あさか(合川南小学校)
入選	へんてこなおでこをみてみたら	長崎	夏海(鷹巣西小学校)
入選	ルリ、いつしよにあそぼ	工藤	夕奈(綴子小学校)
入選	もうすぐおじいさんがたすけにきてくれるよ	湊	智貴(綴子小学校)
入選	ガニランつかまえたぞ	畠山	桜(鷹巣小学校)
入選	いじわるルクチひめをたすけにいこう	木村	まつり(米内沢小学校)
入選	サーカスこやへようこそ	白沢	理奈(浦田小学校)
入選	大きなかぶがぬけないわけ	佐藤	浩哉(合川東小学校)
佳作	おかあさん	いつてらっしやい	佐藤	泉里(鷹巣西小学校)
佳作	サンタさんにあったよ	津谷	幸希(鷹巣西小学校)
佳作	あめがやんだら	さあたいへん	村上	理菜(鷹巣東小学校)
佳作	大すきなともだち	相馬	真彩(鷹巣中央小学校)
佳作	なかよし	中嶋	千夏(鷹巣中央小学校)
佳作	ながれ星がきれい	山口	玲匡(鷹巣南小学校)
佳作	さよならきつねのおやこ	武田	沙輝(竜森小学校)
佳作	ティラノサウルスとあそんだよ	佐藤	亮(浦田小学校)
佳作	大きなかぶがぬけないわけ	関	美喜(合川東小学校)
佳作	やっほーっ!てぶくろでパーティーだ	とのづか	ゆうせい(合川南小学校)

小学校 二年生

特選	さよならかわいそつなむすこ	梅原 圭 祐 (竜森小学校)
入選	なかよしになつてよかつたね	佐藤 夏 綺 (鷹巣西小学校)
入選	本当はゆう気のあつた豆太	高橋 和 (鷹巣西小学校)
入選	いつでも海が見えるよ	三澤 瑚 子 (綴子小学校)
入選	「ドングリ山のやまんばあさん」を読んで	柴田 菜々子 (鷹巣小学校)
入選	カラフルクッキー	工とう なるみ (鷹巣小学校)
入選	やつと なかなおりした	村上 奈 緒 (鷹巣東小学校)
佳作	おじいちゃん長生きしてね	高橋 和 希 (綴子小学校)
佳作	「ライギョのきゆうしよく」を読んで	金沢 ひ な (鷹巣小学校)
佳作	おさるがすなはま	萩野 渚 夏 (鷹巣小学校)
佳作	バーバズーの上で	亀山 侑 斗 (鷹巣中央小学校)
佳作	きれいな月を見てくるくじら	佐藤 響 (鷹巣南小学校)
佳作	こびとのクレープ作り	金 千咲季 (米内沢小学校)
佳作	うさぎ村のうさぎ時間	簾内 咲 帆 (前田小学校)
佳作	さけのおおすけ今のぼる	春日 健 人 (大阿仁小学校)
佳作	アッチとチとキのおどかしあい	佐藤 千 博 (合川東小学校)
佳作	ねこおばけさんしょう!	田中 和 輝 (合川南小学校)

応募された方々 感想文

小学校 三年生

九島 朱李(鷹巣小)
 畠山 蛭(鷹巣小)
 八木橋 真衣(鷹巣小)
 津谷 雄貴(鷹巣小)
 伊藤 実礼(鷹巣小)
 斉藤 美沙希(鷹巣東小)
 工藤 希美子(鷹巣中央小)
 佐藤 祐介(鷹巣南小)
 笹代 博也(竜森小)
 鈴木 樹也(合川南小)
 伊藤 智也(合川南小)
 土濃塚 世奈(合川南小)
 松橋 宇良(合川南小)
 春日原 美草(合川南小)

小学校 四年生

篠内 春香(鷹巣西小)
 福島 聡一郎(鷹巣小)
 石田 明美(鷹巣南小)
 中林 藤仁(鷹巣南小)
 畠山 萌子(竜森小)
 堀部 亘世(竜森小)
 笹代 智也(竜森小)
 伊藤 穂乃佳(合川東小)
 森澤 樹(合川東小)
 金田 悠梨(合川東小)
 田所 駿也(合川南小)
 蛭名 貴斗(合川南小)

小学校 五年生

戸沢 菜々美(鷹巣西小)
 佐藤 加奈(鷹巣西小)
 藤嶋 緑穂(綴子小)
 長岐 美優(鷹巣小)
 西根 利奈(鷹巣小)
 北林 拓朗(鷹巣小)
 瀬川 大葉(鷹巣小)
 松橋 夏凧(鷹巣東小)
 成田 彩枝(鷹巣東小)
 佐藤 綾香(鷹巣南小)
 佐藤 いつみ(鷹巣南小)
 松岡 圭那(米内沢小)
 伊藤 典子(米内沢小)
 岸野 絵里花(前田小)
 高橋 翔(前田小)
 佐藤 彩寧(大阿仁小)
 佐藤 莉子(合川東小)

小学校 六年生

篠内 朋未(鷹巣西小)
 菅原 真莉(綴子小)
 鈴木 瑛里沙(綴子小)
 高橋 弥生(綴子小)
 藤嶋 生未(綴子小)
 山本 和(綴子小)
 鎌田 彩夏(鷹巣小)
 佐々木 希美(鷹巣小)
 小笠原 麻友(鷹巣小)

千葉圭介(鷹巣小)
佐藤周(鷹巣小)
佐藤大地(鷹巣小)
畠山啓太(竜森小)
奥山香菜(浦田小)
安藤美涼(合川南小)
金田野々花(合川南小)

鈴木彩音(鷹巣小)
笹原美穂(鷹巣小)
中嶋悠人(鷹巣中央小)
宮野夏子(米内沢小)
柏木聡子(浦田小)
伊藤法恵(合川南小)

三浦鈴香(鷹巣小)
三沢楓(鷹巣小)
畠山幸史郎(鷹巣南小)
久留島文香(米内沢小)
吉田真子(合川東小)
成田広大(合川南小)

応募された方々 感想画

幼稚園・保育園

明石	望 (鷹巣西幼稚園)	小棚木	華奈 (鷹巣西幼稚園)	片山	竣介 (鷹巣西幼稚園)
戸澤	香穂 (鷹巣西幼稚園)	小笠原	由妃乃 (鷹巣西幼稚園)	朝倉	奈南美 (鷹巣西幼稚園)
伊藤	瑞菜 (鷹巣西幼稚園)	中嶋	優花 (鷹巣西幼稚園)	朝倉	未南美 (鷹巣西幼稚園)
成田	瑞紀 (鷹巣西幼稚園)	長崎	昂志 (鷹巣西幼稚園)	佐々木	南美 (鷹巣西幼稚園)
津谷	大夢 (鷹巣西幼稚園)	さとう	いぶき (鷹巣北幼稚園)	はたけ	やまたくや (鷹巣北幼稚園)
さとう	りゅうと (鷹巣北幼稚園)	みかた	りゅうと (鷹巣北幼稚園)	かしわぎ	はるな (鷹巣北幼稚園)
小山	海斗 (鷹巣中央保育園)	桜田	桃花 (鷹巣中央保育園)	橋本	将汰 (鷹巣中央保育園)
佐藤	亜星 (鷹巣中央保育園)	三澤	大雅 (鷹巣中央保育園)	成田	亮太 (鷹巣中央保育園)
長岐	力 (鷹巣中央保育園)	飯野	未来 (鷹巣中央保育園)	虻川	寧音 (鷹巣中央保育園)
戸澤	海希 (鷹巣中央保育園)	福士	藍 (鷹巣中央保育園)	伊藤	優奈 (鷹巣中央保育園)
三浦	直華 (鷹巣中央保育園)	明石	彩乃 (鷹巣中央保育園)	松橋	陸 (鷹巣中央保育園)
成田	勇真 (鷹巣中央保育園)	萩野	遥香 (鷹巣中央保育園)	河田	ひろ美 (鷹巣中央保育園)
畠山	里緒 (鷹巣中央保育園)	湊屋	弾 (鷹巣中央保育園)	越前谷	隼太 (鷹巣中央保育園)
和田	静香 (鷹巣中央保育園)	後藤	慶至 (鷹巣中央保育園)	山内	愁 (鷹巣中央保育園)
三沢	由花理 (鷹巣東保育園)	三浦	和紗 (鷹巣東保育園)	亀山	杏樹 (鷹巣東保育園)
小笠原	叶夢 (鷹巣東保育園)	松尾	ちひろ (鷹巣東保育園)	菅原	一翔 (鷹巣東保育園)
五十嵐	琴乃 (鷹巣東保育園)	秋元	ゆい (鷹巣東保育園)	村上	菜菜 (鷹巣東保育園)
小坂	凌 (鷹巣東保育園)	清水	柚衣 (鷹巣東保育園)	斉藤	歩夢 (鷹巣東保育園)
小坂	毬恵 (鷹巣東保育園)	伊藤	美月 (鷹巣東保育園)	畠山	和希 (鷹巣東保育園)
長岐	和果 (鷹巣教会幼稚園)	河田	亜依 (鷹巣教会幼稚園)	玉記	勇斗 (鷹巣教会幼稚園)
三沢	夢希斗 (鷹巣教会幼稚園)	千葉	星南 (鷹巣教会幼稚園)	佐藤	麗香 (鷹巣教会幼稚園)

今村友香(鷹巣教会幼稚園)	菅原香奈(鷹巣教会幼稚園)	野口桃花(鷹巣教会幼稚園)
八木橋彩音(鷹巣教会幼稚園)	三澤遥(鷹巣教会幼稚園)	渡辺翔(鷹巣教会幼稚園)
高橋百香(綴子保育園)	山口王子(綴子保育園)	三澤直威(綴子保育園)
武内優太(綴子保育園)	上山貴大(綴子保育園)	佐藤光之輔(綴子保育園)
米澤鷹大(綴子保育園)	三澤幸美(綴子保育園)	工藤千翔(綴子保育園)
佐藤悠祐(綴子保育園)	成田萌(綴子保育園)	内山結貴(綴子保育園)
高橋麻衣(綴子保育園)	成田梨穂(綴子保育園)	山内多香子(綴子保育園)
三澤彩乃(綴子保育園)	佐藤愛菜(綴子保育園)	三沢桃果(綴子保育園)
齊藤明日香(綴子保育園)	米沢彩花(綴子保育園)	さいとうだいき(南鷹巣保育園)
さわふじゆめ(南鷹巣保育園)	くしまだいき(南鷹巣保育園)	さとうこずえ(南鷹巣保育園)
なかじままな(南鷹巣保育園)	かなりだいち(南鷹巣保育園)	みなとたいが(南鷹巣保育園)
ふじわらしんご(南鷹巣保育園)	さとうましる(南鷹巣保育園)	なかじまちひろ(南鷹巣保育園)
なかじまかな(南鷹巣保育園)	とがしななせ(南鷹巣保育園)	いしかわみずき(南鷹巣保育園)
とがしななみ(南鷹巣保育園)	なかじまとしゆき(南鷹巣保育園)	さとうあかり(南鷹巣保育園)
はなたまさき(南鷹巣保育園)	さとうかいり(南鷹巣保育園)	なかじましゅうや(南鷹巣保育園)
はたけやままりあ(南鷹巣保育園)	さとうたくま(南鷹巣保育園)	ちばはるな(南鷹巣保育園)
みやのみらい(南鷹巣保育園)	こんどうそら(南鷹巣保育園)	山田謙二朗(七七日市保育園)
畠山友花(七七日市保育園)	神成若菜(七七日市保育園)	長岐明日香(七七日市保育園)
宮腰優香(七七日市保育園)	九嶋希莉(七七日市保育園)	富澤奈美英(七七日市保育園)
柴田泰成(七七日市保育園)	佐藤雅(七七日市保育園)	鈴木皓也(米内沢保育園)
小杉山惇(米内沢保育園)	近藤祐太(米内沢保育園)	田中香里(前田保育園)
庄司鈴夢(前田保育園)	滝澤栞(前田保育園)	松浦孝典(前田保育園)
山田啓吾(前田保育園)	藤嶋大晟(前田保育園)	菅原亜子(前田保育園)

松浦大輔(前田保育園)

小学校 一年生

工藤美幸(鷹巣西小)	戸嶋風花(鷹巣西小)	成田千佳(鷹巣西小)
藤嶋杏香(鷹巣西小)	津谷美智子(鷹巣西小)	畠山悠大(鷹巣西小)
佐々木優奈(鷹巣西小)	桜庭圭(鷹巣西小)	津谷幸穂(鷹巣西小)
野呂皇詠(鷹巣西小)	津谷輝一(鷹巣西小)	長崎未来(鷹巣西小)
柴田周(鷹巣西小)	長崎怜生(鷹巣西小)	太田柚那(綴子小)
畠山竜一(綴子小)	さわ田れいな(綴子小)	藤島瑞希(綴子小)
三澤乃亜(綴子小)	佐藤宏樹(綴子小)	千葉桃香(鷹巣小)
児玉福明(鷹巣小)	小畑ひかり(鷹巣小)	若松善晟(鷹巣小)
成田聖允(鷹巣小)	藤嶋悠斗(鷹巣小)	森山紅葉(鷹巣小)
渡辺瑠海奈(鷹巣小)	会田みち(鷹巣小)	石川楨也(鷹巣小)
長崎彩乃(鷹巣小)	岩谷悠平(鷹巣小)	魚住詩音(鷹巣小)
大山穂乃果(鷹巣東小)	成田美緒(鷹巣東小)	日下部千華(鷹巣東小)
相澤拓杜(鷹巣中央小)	糸洲寛勢(鷹巣中央小)	近藤伸亮(鷹巣中央小)
佐藤東(鷹巣中央小)	佐藤永遠(鷹巣中央小)	鈴木和輝(鷹巣中央小)
中嶋洋(鷹巣中央小)	中嶋悠大(鷹巣中央小)	宮野魁(鷹巣中央小)
村上拓(鷹巣中央小)	村上雄登(鷹巣中央小)	山口晶(鷹巣中央小)
吉田勇人(鷹巣中央小)	笹原羽衣(鷹巣中央小)	佐藤熙(鷹巣中央小)
富澤咲奈英(鷹巣中央小)	中嶋愛理(鷹巣中央小)	中嶋文香(鷹巣中央小)
中田芽吹(鷹巣中央小)	畠山衿花(鷹巣中央小)	畠山夏季(鷹巣中央小)
藤原舞生(鷹巣中央小)	長岐拓(鷹巣南小)	成田叶望(鷹巣南小)
大坂翔太(鷹巣南小)	佐藤天祥(鷹巣南小)	まんだのりか(鷹巣南小)

小学校 二年生

佐藤 樹音 (鷹巣南小)	みかみ みさき (竜森小)	堀部 竜誠 (竜森小)
平川 優花 (米内沢小)	近藤 美緒 (米内沢小)	魚住 真央 (米内沢小)
山田 雅子 (米内沢小)	田崎 愛 (浦田小)	柏木 美優 (浦田小)
鈴木 悠人 (浦田小)	鈴木 敦貴 (浦田小)	神成 祐哉 (浦田小)
久野木 廉 (鷹巣西小)	工とう 千明 (鷹巣西小)	津谷 藍 (鷹巣西小)
熊谷 佳那 (鷹巣西小)	成田 鈴音 (鷹巣西小)	明石 妃奈子 (鷹巣西小)
上野 拓己 (鷹巣西小)	大川 菜 (鷹巣西小)	成田 夏鈴 (鷹巣西小)
武田 滉大 (綴子小)	大川 円香 (綴子小)	武藤 茂樹 (綴子小)
福田 遥香 (綴子小)	三澤 早奈恵 (綴子小)	西根 稜賀 (鷹巣小)
津谷 柊斗 (鷹巣小)	成田 徹平 (鷹巣小)	高橋 美樹 (鷹巣小)
三日田 剛琉 (鷹巣小)	宍戸 花菜子 (鷹巣小)	高橋 沙代子 (鷹巣小)
久留嶋 瑠海 (鷹巣小)	工藤 成未 (鷹巣小)	畠山 菜 (鷹巣小)
大沢 翠 (鷹巣小)	板倉 優香 (鷹巣小)	松橋 伶於 (鷹巣小)
千葉 柊平 (鷹巣小)	戸嶋 あつき (鷹巣小)	久留嶋 もも香 (鷹巣小)
千葉 拓磨 (鷹巣小)	三上 優香 (鷹巣小)	浅井 元希 (鷹巣小)
高橋 暖佳 (鷹巣小)	成田 賢吾 (鷹巣小)	津谷 瑞希 (鷹巣小)
佐藤 生 (鷹巣小)	佐藤 真凜 (鷹巣小)	長岐 岳 (鷹巣小)
斉藤 寿明 (鷹巣小)	田村 晃大 (鷹巣小)	本城 梨里子 (鷹巣小)
渡辺 瀬奈 (鷹巣小)	吉田 夏子 (鷹巣小)	わたなべ かつや (鷹巣小)
ふじしま れいな (鷹巣小)	茂内 花歩 (鷹巣小)	まつお みく (鷹巣小)
榎 かのん (鷹巣小)	長崎 圭悟 (鷹巣小)	かま田 拓 (鷹巣小)
ふじ本 り子 (鷹巣小)	長き たいせい (鷹巣小)	成田 聖天 (鷹巣小)

三浦那奈(合川南小)	三浦佑斗(合川南小)	武石七海(合川東小)	金森彩夏(合川東小)	松橋 菜(大阿仁小)	松橋 悠(大阿仁小)	西根 亮(大阿仁小)	武田 玲菜(竜森小)	佐藤 麻望(鷹巢南小)	松田 竜来(鷹巢南小)	長岐 優菜(鷹巢南小)	鎌田 茉優(鷹巢南小)	石田 千保子(鷹巢南小)	佐藤 俊(鷹巢南小)	武石 湖菜美(鷹巢中央小)	斉藤 穂乃香(鷹巢中央小)	かなり みゆ(鷹巢中央小)	菅原 悠理(鷹巢東小)	小笠原 冴(鷹巢東小)	林 雄大(鷹巢小)	瀬川 森詩(鷹巢小)	藤田 奈菜花(鷹巢小)	石川 かずき(鷹巢小)
加藤俊文(合川南小)	松橋 郁未(合川南小)	渡辺 璃央(合川東小)	森澤 響(合川東小)	鈴木 杏菜(大阿仁小)	佐藤 亜沙美(大阿仁小)	松橋 千里(大阿仁小)	堀部 綾乃(竜森小)	神成 聖奈(鷹巢南小)	千葉 海里(鷹巢南小)	佐藤 玲那(鷹巢南小)	山田 宗一朗(鷹巢南小)	長岐 駿(鷹巢南小)	成田 菜生(鷹巢南小)	千葉 咲楽(鷹巢中央小)	しょうじ わかな(鷹巢中央小)	木村 優花(鷹巢中央小)	玉造 広大(鷹巢中央小)	村上 なな(鷹巢東小)	大川 まい翔(鷹巢小)	ふじしま 大(鷹巢小)	こんまん しおり(鷹巢小)	吉田 拓人(鷹巢小)
鈴木 萌(合川南小)	三浦 くるみ(合川南小)	松岡 南海(合川東小)	菊地 亮太(大阿仁小)	泉 優花(大阿仁小)	松橋 未来(大阿仁小)	渡邊 美久(米内沢小)	畠山 航洋(竜森小)	立石 優慎(鷹巢南小)	佐藤 和稀(鷹巢南小)	長岐 南美(鷹巢南小)	本城谷 まどか(鷹巢南小)	千葉 慧秀(鷹巢南小)	佐藤 大河(鷹巢南小)	鈴木 伶奈(鷹巢中央小)	近藤 奈々(鷹巢中央小)	長野 裕貴(鷹巢中央小)	岩谷 みな(鷹巢東小)	つじの たいせい(鷹巢小)	田口 せな(鷹巢小)	小笠原 双葉(鷹巢小)	ささ木 しおん(鷹巢小)	

応募者数及び入賞者数一覧

《感想文》

部 門		応募者	特 選	入 選	佳 作
小学校	3年生	20	1	2	3
	4年生	18	1	2	3
	5年生	22	1	2	2
	6年生	36	1	3	4
中学校	1年生				
	2年生	2			2
	3年生	2	1	1	
高校・一般		2	1	1	
合 計		102	6	11	14

《感想画》

部 門		応募者	特 選	入 選	佳 作
幼稚園・保育園		157	2	11	10
小学校	1年生	93	1	7	10
	2年生	139	1	6	10
合 計		389	4	24	30

平成19年 2 月
北秋田市教育委員会